研修報告書

2023年度

2年目看護師育成研修①

こっこ れぽ

～自立した看護師として、看護実践できるための知識・技術・態度を修得する～

目標：
1．地域包括ケアシステムにおける当院の位置づけが理解できる
2．患者が住み慣れた生活の場で暮らすための入退院支援を考えることができる
3．患者のニーズをとらえ、個別性を踏まえた看護ケアを考えることができる

他部署の入退院支援を共有しよう

講義を聞いて知識を深めよう
（地域包括ケアシステムにおける当院の役割）
（病棟看護師が行う　具体的な入退院支援について）

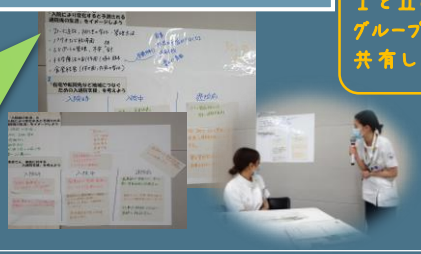
講師　メディカルサポートセンター
地域医療連携センター
山口真美看護師長

模擬患者（茂木太郎さん）の入退院支援について考えよう

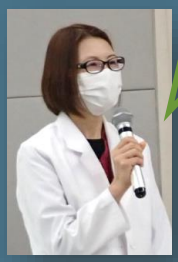
#1茂木さんの目標
「今まで通り夫婦で食堂経営を続ける」

Ⅰ「入院前の生活と入院により変化すると予測される退院後の生活をイメージしよう」

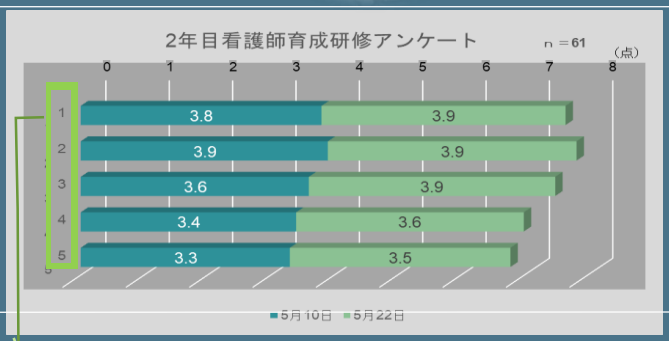
Ⅱ「患者さん・家族に対する入退院支援」
「在宅や転院先など地域につなぐための入退院支援」を考えてみよう



ⅠとⅡのテーマについて
グループワークして、皆で
共有しました。



患者さんの生活を知り、
思いや不安を共有しましょう。
方向性にずれがないか確認してください。
退院が目標ではありません。
日々の看護の記録を残し、
外来・地域につなげましょう



1. 地域包括ケアシステムにおける当院の役割が理解
2. 患者が住み慣れた生活の場で暮らすための日々の看護であることが理解できたか
3. 模擬患者の入院前の生活、入院により変化すると予測される退院後の生活がイメージできましたか
4. 患者の思いを汲み、個別性を踏まえた看護ケアを考えることができたか
5. 地域で看護をつなぐための入退院支援を実践することができそうか

部署の皆様へ
「個別性を考える上で、入院時から退院後を見添えて患者さんと関わっていきたいです。」等たくさんの意見がありました。
今後受け持った患者さんの個別性に寄り添った思いが看護計画や実践に繋がるようご指導をお願いします。

作成者：下釜聖子・木村由紀